

## 東京農大福島イノベーション・コースト研究プロジェクト

～ 大学の専門的知見をフル活用した浜通り地方の復興から地域創生へのシームレスな支援モデル構築

### 2019年度事業の概要

 **東京農業大学**



連携市町村：相馬市

現地拠点：福島県相馬市塚ノ町

#### 事業の ポイント

- 8年間の「東京農大東日本プロジェクト」の実績を活用した支援事業
- 技術系 + 経営系という車の両輪で駆動させる幅広い課題解決
- 行政・NPO・農協・森林組合・農業法人・個人などの幅広いネットワークの活用

#### 目的

- 放射性物質汚染からの環境回復の技術支援
- 自立的発展のための内発的産業振興とそれを担う経営感覚のある人材の育成
- 技術と経営を融合させた農業系総合大学ならではの継続的な支援

#### 2019年度の 活動内容

- 森林・農地との境界・節足動物・野生動物の放射性物質モニタリング
- 未利用資源の利用
- 学生の参画による6次化商品開発
- 首都圏の消費者ニーズのマッチング
- 地元の児童生徒を対象とした生きもの調査やサマースクール

#### 取り組みによって 得られる成果

- 間伐による植生回復、森林からの流出動態、指標生物による動態と消長、人間生活との軋轢と保全
- 地域農業の高収益化や雇用者の増加
- 浜通り地方自体の魅力向上
- 新商品やツーリズムで浜通り地方へのカネの流れを作る